よつて立つ産業は大衆を動員し得る程我等の力が大きければそれから全市労方の大衆を集中し又動かすに便利な都市の中央の産業などからぶつかるが今の力ではかかる様なことは不可能である。東京の如き大都市なら三箇所又は四個所の小都市或は一箇所位の工場地帯がデモの計画として選定さるべきだ。そしてこの工場地帯は労働者を出来得る限り動員出来る様な密集した地点を必要とし特に目標とする大工場（金属化学）又は動揺してゐる工場の周囲又は附近が選ばるべきだ。或九州の鉱山とやつたデモで争議参加者が二万人から六万人に増えた、工場地帯のデモそしてこれは労働者に大きな自信と闘争力とを呼び起すのだ。

動員のやり方、

大衆は工場内より集めて来なくてはならぬ、立て動員するのは工場内に根を張る中心（一人又は二人以上三人以上）の活動である。外からビラを撒いたり、デモをしたりそれを電柱に張つたりする丈では明かに不足だ、然しアピールは絶へず工場内の中心から主となつてやらねばならない。其の中心の活動によつて其の中心と共に数十数百の大衆が各工場から動員されてゐるが、外からビラ撒き撒くでは決して大衆が工場から押し寄せてなだれこむものではない、之等の中心分子は前以て自工場でドしくと懇談会等を開いて四月十六日の意義をアジれそしてこのためには一つの工場だけではだめだから工代を開いて協議しようではないかと決議しろ、工代ではともに工場有志者の代表者の集まりもやるそれは正式の工代が作れば作られるための一歩前進だ、そしてこの工代には工代準備会で四月十六日の具体的な計画を立てろ。工場の決定書の戦術スローガン、ビラ、デモの作成者を決定しろ、どうしてもかかりしてデモをやつては反つて敵に大きな打撃をあへて与へることが分つてゐるなら已を得ないから従業員大会、工場同盟ストライキ、総諸会等を開け何もやらないよりずつとよい。尤も巧妙な計画で出来ないそんな犠牲はなるべく出はしない、大規模でもよいからやつつけろ、次にはもつと巧く大規模にやる様になる、

スローガン

全国で選んだスローガンは次の様なものだ、